

三浦工業株式会社

本社／松山市堀江町7 〒799-2696

URL: <http://www.miuraz.co.jp>

発行日 2014年3月31日

バラスト水処理装置 国土交通省の承認を取得

今治造船株式会社と中型・大型船向けバラスト水処理装置を開発中

小型貫流ボイラのトップメーカーである三浦工業株式会社(本社 愛媛県松山市 社長 高橋祐二)では、このたび、開発中のバラスト水処理装置において本年3月27日付で、国土交通省^{注1}が定める承認を取得したと今治造船株式会社と中型・大型船向けのバラスト水処理装置を共同開発中であることを発表します。

三浦工業のバラスト水処理装置は、2013年3月に陸上試験を完了し、同年8月から6ヶ月間における船上試験と性能試験を終え、承認条件であるすべての試験を完了しています。本年3月27日付で国土交通省から承認を取得しました。

今後は、USCG(米国沿岸警備隊)のバラスト水処理ルール適用のため、AMS^{注2}申請を行います。AMS取得は申請後3~6ヶ月の予定です。同時にUSCG規制をクリアする承認取得を2016年度目標に進めていきます。

承認モデルは、4月9日~11日開催のSEA JAPAN 2014に出展します。

【三浦工業のバラスト水処理装置〔フィルタ+UV方式〕の特長】

- ・薬品を使用せず、薬品の手配・管理・調整が不要で操作が簡単なシステムです。船舶運航に従事される方の労務負担を低減できます。
- ・フィルタには自動洗浄機能を付属し、目詰まりによる分解掃除が不要です。
定期ドックでのオーバーホールで日常メンテナンスの作業工数と時間を軽減します。
- ・自社開発の独自のフィルタ構造により、Lサイズ以上の生物・異物を確実に捕捉します。
- ・フィルタエレメントで捕捉したLサイズ以上の生物・異物は、多段階洗浄を行い排出。
- ・Sサイズ以下の生物・菌類は、紫外線照射で殺滅処理します。
- ・紫外線照射量をセンサー制御することで、高い殺滅性能のままの省エネ運転が可能でUV管の長寿命化が図れます。

【商品ラインナップ】

処理容量ラインナップ

200m³/h~6000m³/h ^{注3}

【今治造船株式会社と中型・大型船向けバラスト水処理装置を共同開発】

世界有数の建造隻数を誇る今治造船株式会社と共同で、中型・大型船向けバラスト水処理装置のシステム開発を開始しています。新規建造船や現在就航している船舶へのバラスト水処理装置の導入計画やアフターサービスについて、今治造船株式会社の協力のもと建造船の豊富な技術を活かし、簡素化したバラスト処理装置の設置、施工方法を考案中です。

フィルタ+UV方式のバラスト水処理装置は従来、小型・中型船向け搭載が適正ですが、簡単な操作性と活性物質を使用しない環境にやさしい特長から、現場オペレータの負担を軽減するため大型船にも搭載可能なシステムを共同で開発中です。

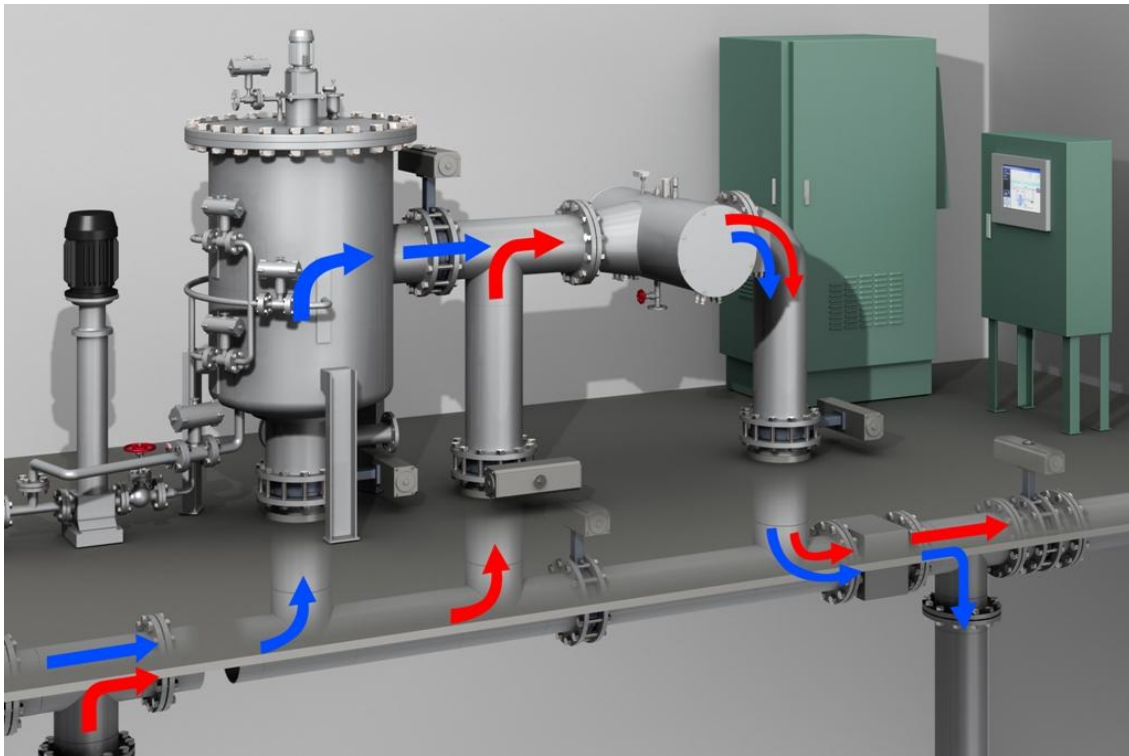
2015年1月には商品化を目指しています。

【販売予定】


2014年10月の販売開始に向けて営業を開始しています。2018年度の売上目標は100億円です。販路は取引実績のある造船所・販売店・船主・オペレータを中心に予定しており、海外への販路も開拓していきます。今後は商品ラインナップ拡充に向けての開発と量産化を進めていきます。

【メンテナンス・販売拠点】

三浦工業自社によるメンテナンス・販売拠点の拡大を進めていきます。現在の日本国内4拠点（松山、福山、東京、福岡）、シンガポール、オランダのほか、新たに中国3拠点^{※4}（青島、上海、広州）、台湾^{※5}、ヒューストン^{※6}を計画しています。



バラスト水 

デバラスト水 

注¹ 船舶に設置可能となるには、IMO（国際海事機関）にて採択された「バラスト水及び沈殿物の規制および管理のための国際条約」（通称バラスト水管理条約）における国土交通省が定める承認が必須となる。

※² IMOにより承認されたバラスト水処理装置がUSCGにより一時的に認められるAMS（Alternate management Systems）と呼ばれる措置。

注³ ラインナップは複数のフィルタとUVリアクタの組み合わせで決定。

注⁴ 2014年10月から2015年3月までに開設予定

注⁵ 2013年11月1日付けで駐在所設立。

注⁶ 2015年度開設予定

以上

▼お問い合わせ先
三浦工業株式会社 ブランド企画室
TEL：089-979-7019 FAX：089-979-7126
Mail: burandokikakushitsu@miuraz.co.jp